

5分で読める

ちょっと役に立つ

『列車安全装置』

Q & A

鉄道事故はいろいろな場面で起こります。ところが、それに対処する装置がホームや電車内にあるのにどんな使い方をするかを知らないのが現状ではありませんか？ この小冊子で改めて、列車に乗る時に、どこに、どんな装置があるかを確認する気付きになればと作成しました。

平成26年10月

ホームの白線と黄色線



ホームの白線と黄色線の違いはどう違うのか知っていますか？



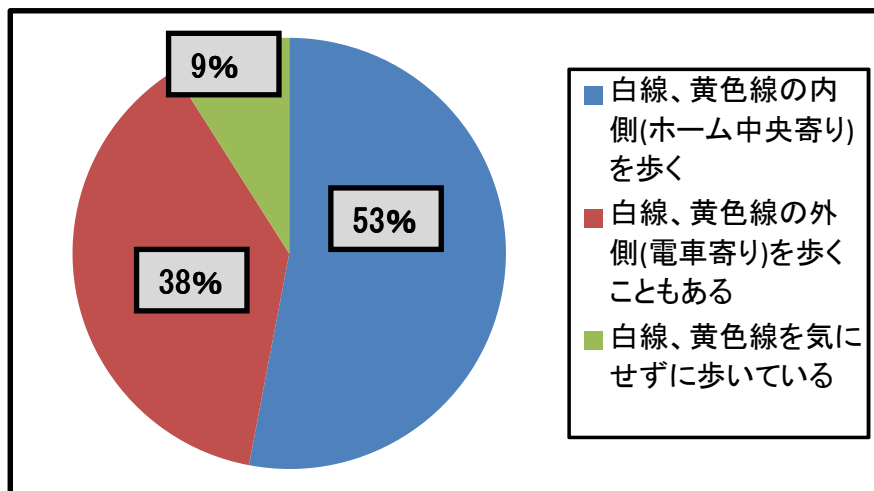
ホームには電車通行側から白線、黄色線が設けられています。

これらホームの白線、黄色線は、ホームを歩く方がホームから転落したり、列車との接触を防止したり、駅係員が列車進入や出発時の安全確認の見通しが確保できるようにするために設けられています。通行者が通行する際の目印として、ホームの電車通行側から一定の距離に設けられています。

黄色線については、突起物があるのでわかるように視覚障害者を誘導するのが目的です。

従って、ホームを通行する際は黄色線の内側(ホーム中央寄り)を通行します。

ホームのどこを歩きますか？



ホームにあるインターホン



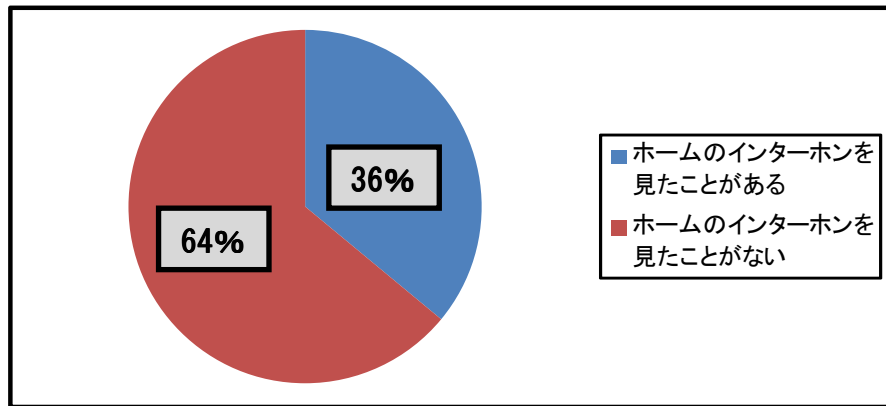
ホームに駅係員に緊急連絡するインターホンがあるのを知っていますか？ どんな時に使うか知っていますか？



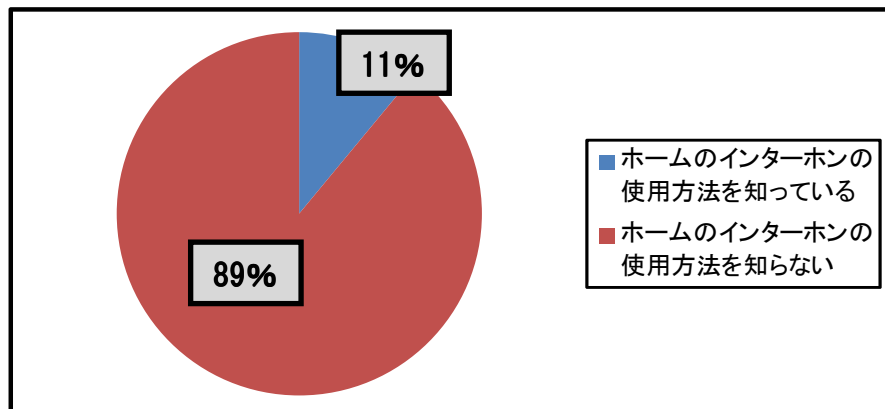
ホームにあるインターホンは、ホーム上で喧嘩、急病人がでた時、線路内に靴や帽子など小物を落とした時に駅係員等と通話するための装置です。ホームから人が線路内に転落した時に列車を停止させるために連絡する装置ではありません。



ホームのインターホンを見たことがあるか？



ホームのインターホンの使用方法を知っているか？



列車非常停止装置



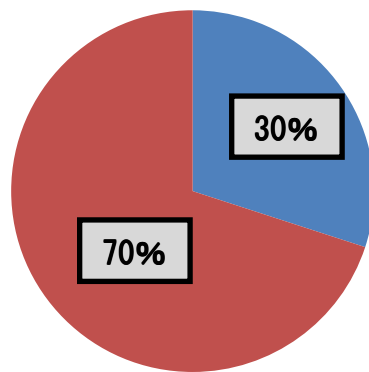
列車非常停止装置を知っていますか？ どんな時に使うか知っていますか？



列車を停止させなければ人や列車に事故が起こる危険が生じた時に列車に危険を知らせる装置です。例えば、ホームから線路内に人が転落した時、人と列車の接触の危険がある時。線路内に大きな荷物等が落下し、列車の走行に支障がある時に列車を止めるために列車非常停止装置を使います。



列車非常停止装置の使用方法を知っているか？



■ 列車非常停止装置の使用方法を知っている
■ 列車非常停止装置の使用方法を知らない

ホーム下避難スペースとステップ

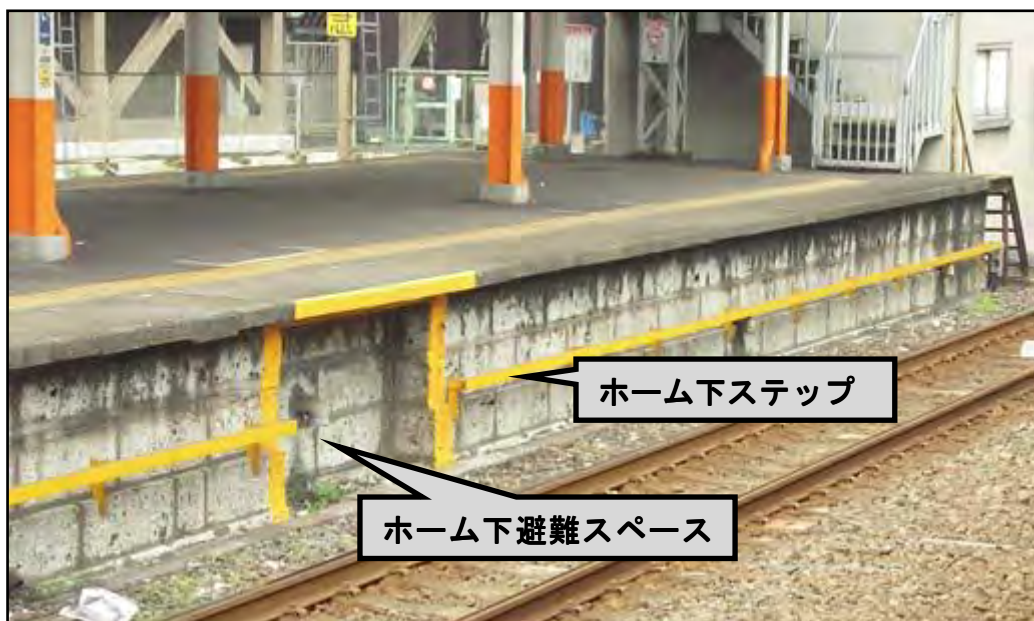


ホーム下に線路内に転落した場合の避難スペースとホームに上がるステップがあるのを知っていますか？



ホーム下避難スペースは、ホームから線路内に転落した場合に、進入してくる列車等から逃げ込むためのスペースです。

ホーム下ステップは、ホーム下に転落してホームに上がるために足かけるステップです。



車内非常通報装置

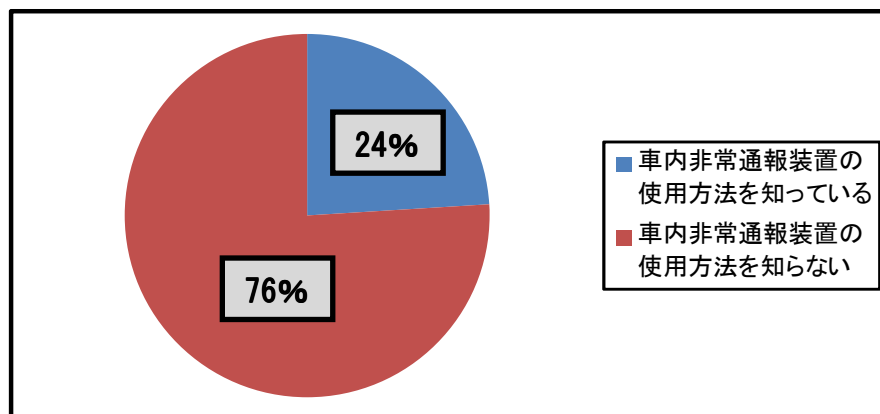


車内非常通報装置を知っていますか？ どんな時に使うか知っていますか？



車内で火災・発煙、トラブル等があった場合に、乗務員等へ通報するための装置です。鉄道会社によって、装置は乗務員と通話ができるタイプと乗務員室に表示が出るのみで通話のできないタイプとがあります。通話を受けた時に直ちに列車を停止する場合、通報者の内容を聞いてから対処するなどケースバイケースで対応が異なります。

列車非常停止装置の使用方法を知っているか？



車内用ドアロックカバー



車内用ドアロックカバーを知っていますか？
どんな時に使うか知っていますか？



車内で火災が発生した場合や乗務員から指示があった場合に、車外に脱出するために車両の自動ドアを手動で開けられるようにする装置です。

こんな時には使用してはなりません。不審者や不審物の発見、トラブル等があった時。荷物がはさまった時など。

